



2017 大阪自動車整備健康保険組合 保健師からのお手紙

8



平素より健康保険組合の保健事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。
 今月は「健診と検診」の後編で、がん検診についての特集です。

日本は、2人に1人が“がん”になり、3人に1人が“がん”で亡くなる世界トップクラスのがん大国です。欧米では減少傾向にあるがんの死亡率が、日本で増えているのはなぜでしょうか？ それは、高齢化のほか、がんを知らないことが大きな原因と言われています。がんで死なないためには、がんを防ぐ生活習慣と、早期発見のためのがん検診をセットで行うことです。早期がんの段階なら多くのがんで9割程度が完治し、働きながら治すことも可能なのです。さあ、自覚症状が出る前に、定期的ながん検診を受けましょう！

5つのがん検診

健診と検診(後編)

☆国では、5つのがん検診が行われています。(検診にむいているがんです)

日本で一番かかる人が多い

胃がん

(対象者：50歳以上)/2年に1回
 胃部X線検査 or 内視鏡検査

男性の死亡率が一番高い

肺がん

(対象者：40歳以上)/1年に1回
 胸部X線検査
 →CT、内視鏡検査

早期発見ならほぼ確実に完治する

大腸がん

(対象者：40歳以上)/1年に1回
 便潜血検査→大腸内視鏡検査

女性にもっとも多くみられる

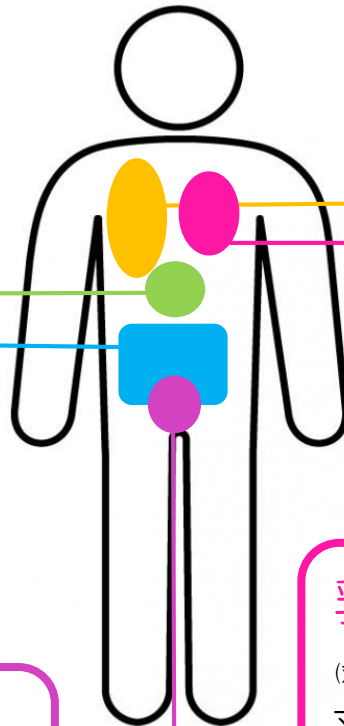
乳がん

(対象者：40歳以上・女性)/2年に1回
 マンモグラフィー

20歳代後半から増える

子宮がん

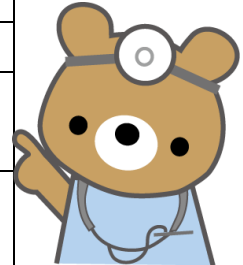
(対象者：20歳以上・女性)/2年に1回
 子宮頸部細胞診



がんを早期のうちに発見できる期間は1~2年です。ぜひ定期的ながん検診を受けてください。

当健保組合では、生活習慣病予防健診・半日ドックコースの健康診査と同時に下記のオプション検査を実施したとき、助成の対象となります。

オプション検査助成			
検査項目	対象がん	助成限度額	
肝炎ウィルス検査	肝がん	1000円	
PSA 検査	前立腺がん	1000円	
ピロリ菌	胃がん	1000円	
女性	子宮頸部細胞診検査	子宮頸がん	いずれも 1000円
	子宮体部細胞診検査	子宮体がん	
	マンモグラフィー 超音波検査	乳がん (いずれか1つ)	いずれも 1000円

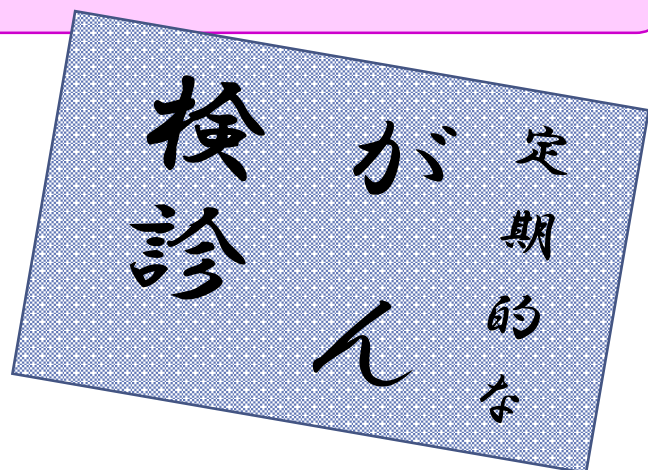


「がん検診無料クーポン」を配布している市区町村もあります。検診の種類によって、特定の年齢の人がクーポン配布対象者となりますので、自分が対象者になるかについては、住民票がある市区町村の担当窓口にお問い合わせください。

その他のがんについて

例えば、甲状腺がん、前立腺がんは、進行が遅く、治りやすいがんの代表です。積極的にがんをみつけなくても、寿命に影響を及ぼさないタイプもあります。逆に肝臓がん、胆のうがん・胆管がん、すい臓がんは、お腹の奥にあり、検診で見つけにくいこともあり5年生存率も低いです。また、がんの中には1~2割程度、進行が非常に速いがんもあります。このようながんは検診によって捕まえるのは難しいです。

その他のがんについては、自分の家系に多いがんや肝炎の既往歴など、自分が抱えているリスクに応じて検診をうけるか、気になる症状があるようなら、その専門外来に早めに受診するといいでしょう。



禁煙などの生活習慣の改善と、定期的ながん検診、この二段構えこそ、がんで死なないための特効薬といえます。

＜ご質問・お問い合わせ先＞ 〒542-0066 大阪市中央区瓦屋町 2-11-16 オトセタビル3F 大阪自動車整備健康保険組合
医療費適正化対策室 保健師：阪本 TEL06-6762-6371 FAX06-6763-1800

バックナンバーはホームページで <http://www.oj-kenpo.com>